

2016(H28)7.26 中原消防署見学会 ミニツアー (報告)

1. 概要 (アテンダー: 滝澤、西山)

- * 開催日: 2016(H28)7.26(金) 9:30~12:00 曇り
- * 参加者: 合計 27 名: (一般 19 名、会員 8 名)
- * 集合: 9:30 武蔵小杉駅東口バスターミナル前

2. 主な行程

- 9:30 武蔵小杉集合場所
- 10:00~11:30 徒歩→なかはら消防署
- 11:30 現地にて解散

3. トピックス

武蔵小杉の高層マンションの間を抜けたところが綱島街道、なかはら消防署は正面です。新幹線がその裏を走っています。(写真-15)

参加者 27 名、うち小学生から乳児の子供 7 名で雰囲気いっそう柔らかい。平均下がれど、バラツキ不測。

(1) 車両見学

“百聞は一見です...” ので以下は写真で。



図-1. 中原消防署に向かう



写真-2,3,4 (乗車体験) しゅつどう!



写真-5 試着体験!



写真-6 出しっぱなし?

(写真 5) 消防服を試着しました。重いし! 暑いし! (写真-5)

(写真 6) 脱ぎっぱなしの置きっぱなし? ですが整頓の標準スタイル。我が家でもこんな情景を見ますが、ここではスタートの一刻一秒が勝負です。

(写真なし) 消防車はいろんな用途の設備を持っていて、その一台づつの特長を説明してもらいました。水補給がないところ、遠すぎるどころ、など。消防車の連携プレーが想像されます。

なかはら消防署は救急車含めて 14 台。いちばん隅っこの救急車一台は最終出動「予備」とのこと。



写真-7 懸垂下降

(2) 救助隊訓練見学

4 階のベランダから二人の救助隊員が下りてきました。スルスルッと、カメラをかまえる間もなく、あっという間でした。



写真-8 あっ、スパイダーマンだ!



写真-9 通りがかり

つぎは4階です。エレベーターを出ると大きな窓から手招きされました。広いベランダになっていて、その同じ高さから綱渡りの訓練を見ました。早技、すごい！！



写真-10,11,12 4階からアクロバットを

(3)応急処置法

やってみました

- ① 肩をたたいて何回か呼びかける「大丈夫ですか！」
- ② 近くの人に大声で「救急車を呼んでください」
- ③ 近くの人に「AED」をお願いします！
- ④ 呼吸しているかを確認する。近づいてから10秒以内に胸とおなかの動き、鼻に耳を近づけて
- ⑤ “胸骨圧迫！”一分間に100回の速いテンポで。

そこにAEDが来ました。
救急車の到着まで、頑張れ！



写真-13 大丈夫ですか！

できれば体験型でお願いしていましたが、それに快く応えていただき、おかげで子供も大人もさまざまな体験ができました。

消防署なので最初は緊張していましたが、車両に乗ったり、話をきいているうちに身近に感じてきました。

見学中に、役目を終えた救急車が戻ってきました。「お帰りなさい、お疲れさまでした。」

＜アンケートから＞ (M:男性、F:女性)

*短時間でしたが、普段接することのない消防の活動がよく判り大変参考になりました。

(一般 M)

*私達の生活を守ってくれる消防の活動が大変頼もしく感じられました。日ごろの準備と努力に感謝いたします。(一般 F)

*消防車といっても用途別に多くの種類があるのに感心した。救急処置は、今日教わっただけでもかなり役立つと思う。

説明も分かりやすく、有益な見学だった。

下りてきたロープ(写真7)の移動は早すぎて、写真が撮れなかった。一度止まってほしかった。(一般 M)

*普段はなかなか間近で見ることができない特殊車両を見学することができ、さらにポンプ車に乗せてもらって子供は大はしゃぎでした。貴重な体験をありがとうございました。(一般 F)

*短時間でもわかりやすい説明でとてもよかった。(会員 M)

*救急法は、支援する会で一緒に講習を受けるといいと思いました。(会員 M)

—なるべくご本人直筆を書き写しましたが、文脈から僅かの修正があります—

西山記



写真-14 ビューポイント！



(付録) 名札用イラスト